



飛騨神だより

令和5年8月1日
発行
飛騨神岡高等学校



6・7月の行事より

・事業者との懇談会（5月31日）
2年次生の総合的な探究の時間では、職業について主体的に情報を集め、興味を持ち、「職業の役割」「働くことの意義」について考え、自己の職業観・勤労観を持つことを目的に、実際に事業者から話を聞き、それぞれの職業の抱える諸問題に目を向け、将来に向けた進路意識を持つ機会として、事業者との懇談会を行っています。

10種類の職種のグループに分かれ、事前にインターネットや求



人票などで職業について詳しく調べ、職業の抱える諸問題や職業のやりがい等に目を向け、自分たちで主体的に質問を準備し、実際にその職業に就いている12の事業者の方に来校いただき話を聞きました。

その後、事業者から聞いた話をまとめ、聞いた情報を全員で共有できるように、コンピュータを用いた発表ではなくB紙にまとめて発表しました。

（参加事業所）木元電気 ナウエ
三井金属ダイカスト 神岡鋳業
ハツ三館 駿河屋魚一 旭保育園
たんぼぼ苑 カラーズラボ
神岡商工会議所

・社会人講話（6月8日）

今年度1回目の社会人講話はトランスジャパナルプスレース2018年優勝された垣内康介氏をお招きし、『夢を叶える』というテーマでお話しいただきました。垣内さんがトレイルランニングに出会った経緯から、「無駄に生きるな、熱く死ね」という座右の銘

を教えていただきました。生徒からは多くの質問があり、生徒の心にその思いはしっかりと伝わっているようでした。

・本校からの出前講座

6月30日には、本校ロボット部顧問の中村が北校中にてロボットとプログラミングについての授業を行いました。

7月6日には、本校ロボット部の顧問と生徒、が高山市立南小学校でロボット講座を開催しました。

7月10日には、本校文芸部の顧問と生徒が神岡小学校にて小学5年生に俳句教室を開催しました。

いずれの講座も、本校生徒はよい経験ができ活躍し、小中学生にはとても好評でした。



・たんぼぼ苑訪問（7月5日）
華道部が特別養護老人ホームたんぼぼ苑を訪問して、生け花を披露・贈呈しました。苑の皆様から大変好評でした。

中高一貫教育の取組

・部活動交流（6月20日）

連携中学3年生と本校生徒との部活動交流は、より高い技術の練習を体験し、中学にはない部活動を体験することにより、高校入学後の部活動の参考にすることを目的に本校で実施しました。

・高校授業公開（7月20日）

年一回、連携中学校の先生方のみならず、神岡小学校や地区中学校の先生方に、本校の授業を公開し、高校の様子を知っていただくとともに、小中高で一貫した視点での教科指導について、教員間で話し合うことができた（先生方も学び合っています）。

・中2 高校授業体験（7月26日）

連携中学校の2年生が高校の授業を体験しています。中学にはない工業や商業の授業、5教科の高度な授業を体験することで、将来の進路を考える上で参考とし、学習意欲の向上につながることが目的です。

今後の予定

〔9月〕

- 12日 体育大会
- 15日 北校中体験授業
- 26～29日 全期末考査
- 29日 先輩と語る会

〔10月〕

- 4日 中学生一日入学
- 12～13日 白樺祭
- 28日 ひだかみアカデミア「がくしゃへGO!」

学校長より

梅雨があけて本格的な夏が来ました。8月には台湾「国立新港芸術高等学校」との姉妹校提携を締結することが決定しています。コロナ禍以前からの台湾研修も復活し、本校からは4名の生徒が参加します。姉妹校となれば、異文化理解の深化や授業・部活動・探究活動等により一層双方方向の取り組みが期待できます。

また、「グローバル化の対応とともに本校にとって重要である「ふるさと教育」の一環として、10月28日には地域の皆さんと一緒に学ぶ機会をもつために「飛騨神アカデミア『がくしゃへGO!』」を計画しております。子どもから老人まで楽しめる様々な講座を用意しますので、ぜひ本校に足をお運びいただけますようお願いいたします